

## 産業建設常任委員会

5月24日～25日

### ● 研修目的

△住宅新築・改修等補助  
金交付制度について

### ● 研修地

△京都府与謝野町

### ● 研修内容

与謝野町は、平成18年3月、加悦町・岩滝町・野田川町が合併し与謝野町が誕生し、総面積107km<sup>2</sup>の範囲に約2万5千人が暮らしており、町並みや集落が連なるというまとまりの良い地域です。

住宅新築・改修等補助金交付制度が創設した経緯は合併前の旧加悦町で平成15年度から17年度にかけて実施していた事業で、町からの補助金約3,600万円に対し、工事総額、約6億6000万円と約18倍もの経済効果を生み出す成果があげられました。合併後も復活してほしいとの意見が上がり平成21年8月より3年間の実施をしています。この制度の目的は、町民の

環境の向上を図るとともに、町内商工業の活性化に資するものとしています。

住環境の向上を図るとともに、町内商工業の活性化に資するものとしています。

条例としては、町内に本社・本店を有している業者からの申請が絶対条件となっていることや、交付額は対象事業費の15%以内で20万円を限度とするなど、申請面で厳しいものがあります。

制度をスタートした21年度には、対象工事が10億1460万円、これに対する補助額は、6900万円です。

22年度には、12億9961万円、これに対する補助額は7826万で倍率は、16・61倍の経済効果になっています。23年度5月20日現在では、対象工事費は、2億4744万円、補助費は、1億168万と、25倍の効果を生み出しています。現在まで約25億6000万円が町内を循環している結果になって

いる状況だそうです。またこの制度のおかげで下水普及率の向上、さらには税金未納者の徴収率の改善にもつながり想定外の良い結果をもたらしているそうです。

### ● 今後の課題

今後、是非このような経済活性化の起爆剤になり、また、二重三重の経済効果を生む制度を一日も早く本町へも取り入れたいと感じました



### ● 研修内容

日出町は、人口約2万8千6百人、世帯数約1万1千4百世帯、面積73km<sup>2</sup>で、大分県下でも数少ない合併しない単独での町で、人口が増加しているところだ。

耐震化の取り組みについては、平成20年度から耐震調査等を実施し平成27年度には完了予定です。総工費約14億7千万円、耐震工事の優先順位は、災害時の緊急避難場所に指定している小・中学校を優先的に施工しています。現在の施工箇所は、仮設教室を設置せず、耐震補強をした所を教室として使用しながら順次施工をしています。他地区での仮設教室の評価が良くなかったことや、取り壊し費用が掛かることを参考に施工をしています。

### ● 今後の課題

耐震化については、学校施設は、児童生徒の学習、生活の安全の場として、災害時には地域の人のための緊急避難場所として重要な役割を果たすことから、当町も早急に取り組む必要があると感じました。

教育振興基金条例については、平成20年4月に日出町教育振興基金を設置し運営しています。条例の概要は、基金約5千2百万円を教育振興の充

実、教育施設等の整備促進のため運用しています。今後の取り組みは、校舎の増改築や、耐震化事業など臨時的な経費の補助、起債の裏財源として充当していく考えだそうです。また、教育振興にかかる新規のソフト事業等があれば大いに活用したい考えだそうです。

「教育の町松前町」として取り組んでいくことが重要ではないかと感じました。